

コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

人間のパートナーである「犬」をモチーフにした 新キャラクター「ROKEN君」

老健あかね 看護部長 岡本利恵

ご紹介します。全

国老人保健施設協会のイメージキャラクター「ROKEN君」です。丁度いい大きさと愛くるしいフォルムが可愛いですね。

犬は古くから人間のパートナーとして支えあってきました。

老健施設は介護を必要とする高齢者の自立と在宅生活を支援するパートナー施設と



私の胸にもROKEN君バッジ

して存在します。

また、「ロ・ウ・ケ・ン」という音の響きも「犬」を想起させると同時に「犬」をモチーフにする

ことで多くの人々に老健施設を知って頂くことに役立つと考え、イメージキャラクターに起用されたそうです。

老健あかねも創

設27年を迎えまして、様々な変遷を経て地域の皆様に認知され、たよりにされる老健へと成長してきました。これからもより信頼される老健として努力していきたいと思



ROKEN君が象徴する老健の使命を岡山老健協副会長の鍛本院長と銘記する筆者

「本当の支援はdoor to door」 「コロナ禍でも純粋な自宅退院を実現」

大腿骨頸部骨折・脳卒中地域連携パス情報交換会 倉敷中央病院にて

2021年12月16日に倉敷中央病院で情報交換会があり、コロナ禍における病院の取り組みをテーマに発表しました。

2020年春以降コロナ禍のなかで面会制限を行うなか、せめて「顔だけでも」という家族の要望に応えるために、大きな窓がある当院の建物の構造を活かした「窓越し面会」、そしてWeb面会を行いました。

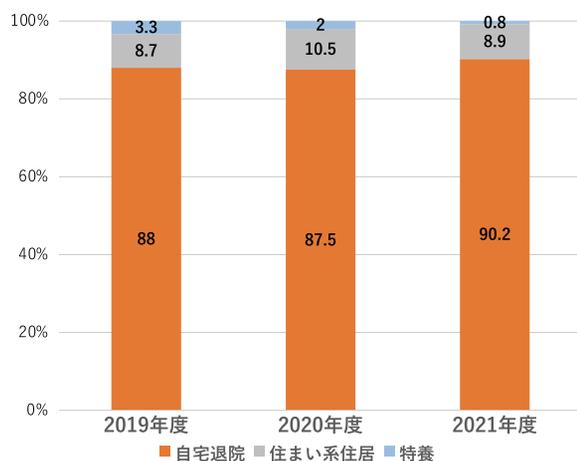
しかし退院に向けて準備を進める家族へ、電話だけで「生

活の様子」を伝える事は困難でした。そこで、自宅に行こう」と当院

回りの強みである「自宅リハ」を行うことにしました。岡山県内なら距離は問わず、高梁、新見などこ

までも何度でも行き、本人の状況を伝えながら退院支援を行いました。

在宅復帰率(特養・共同住居含む)の内訳(%)



コロナ禍で会えなかった事で退院先が施設になることはなく、本当に本人が望むこと、それを支える家族の満足この2つの扉を開くことができたと思います。結果として退院先が施設になったとしても、

私たちは本人が幸せになれる場所を探し提案していきました。

後日、倉敷中央病院連携室より今回の講演についてのアンケート結果・感想が届きました。「患者様やご家族の

方への強く温かい思いが伝わった」「退院に向けての支援の熱意に圧倒された」など、とてもあたたかい感想をいただきました。

まだしばらくコロナの影響は続くと思いますが、コロナ禍だから出来ないのではなく、コロナ禍だからこそ出来る事に目を向け、心の扉を開き送り届ける医療の提供、退院支援を行っていきたくと思っています。

(コープリハビリテーション病院 回復期リハビリ病棟師長 山田小百合)

入院や入所に際して、部屋代はいただいていません。

「希望の光 介護アシスタント」

慢性的な人手不足、また新型コロナウイルス感染症拡大により、益々医療・介護現場が厳しさを増す中、一筋の光明



介護アシスタントとして働く常富順子さん

「介護アシスタントの誕生です。介護アシスタントって何？と思う方も多いと思いますが、普段、私達が働いている中で「ここ気になるな〜。でも、他の業務があるから…」となかなか手が行き届かない業務がたくさんあります。その「ここ」を助けてくれるのが介護アシスタントの方々です。資格が無いため利用者様に直接触れる介護

は出来ません。日常生活面での家事的なお仕事にはなりませんが、私達の力になってくれる事は間違いありません。常富さんが介護アシスタントに興味を持ったのは、旦那様の介護を経験した事が一つの要因です。実際介護を経験して見て、介護従事者の大変さが理解出来たとおっしゃっていました。まだまだ慣れない作業がたくさんありますが、持ち前の明るさと元気で私達を支えてくれる存在になるでしょう。(老健あかね 介護福祉士 副主任 西村和彦)

コープリハでの 歯科臨床研修について紹介

歯科医師 山崎美佳

歯科医師が診療に従事しうとする場合には、大学卒業後に1年以上の臨床研修が義務付けられています。歯科医師になった後に、リハビリ中の患者さんを診察する場面はほぼ100%あるにもかかわらず、リハビリ病院での研修

の機会がある施設は全国的にも限られています。そういったわけで、当院での研修に興味を持つ歯科大学の学生さんは多いのです。研修中の比嘉先生の感想を紹介します。



比嘉医師

「12月よりコープリハビリテーション病院で研修させていただきます。この病院での歯科治療は診療所での歯科治療とは異なり、勉強になる点、難しい点を学んでいるように感じます。

学ぶ意欲にあふれた研修医達に刺激をもらい、引き続き地域の医療に貢献すべく邁進いたします。

病院歯科では様々な全身疾患を考慮しながら治療を進めていきます。例えば片麻痺のある患者さんでは嚥下反射も弱い為、健側に傾けて水が气道に流れないように工夫をしたりします。薬を多く飲んでいる患者さんも多い為、他の診療科と連絡を取り合いながら治療を進めたりします。患者さんを口腔内だけでなく全身的にとらえ治療していくことが大切だと気づかされました。このような体験から診療所での日々の歯科治療にも患者さんを全身にとらえ楽な姿勢や処置のリスクなどを改めて考える良いきっかけとなりました」

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



コープリハビリテーション病院 3階病棟 看護師 久保礼子

新入職員 紹介



多職種が参加する会議に歯科研修医も参加



ソワニエ看護専門学校の学生さん達 (右端筆者)

看護インターンシップ 生活まで考える医療を伝える

昨年12月にソワニエ看護専門学校1・2年生8名を対象に、回復期リハビリ病棟でインターンシップを行いました。患者様とのコミュニケーションの中で、学生から純粋な質問を受け思い出話に花を咲かせている患者様の姿は、普段と違った一面をみる事ができました。事例検討では、自宅環境や経済など生活の話がメインだったため、皆さん新鮮な面持

ちで聞かれていました。特に本人のモチベーションを維持してリハビリに活かす「わくわくゴール」や、在宅でのADLを維持するための循環型サービスという当院独自の手法には驚かれていた印象です。1・2年生は、これから様々な実習を経験し進路を決めていくと思います。今回のインターンシップを経て、回復期リハビリという学校では教わらない分野を知り、「生活を考える医療」を少しでも肌で感じていただけたのであれば幸いです。(コープリハビリテーション病院 回りハ病棟 看護師 水畑拓馬)

診療表

コープリハビリテーション病院 老健あかね
外来受付時間 8:30 ~ 12:00 [086-444-3212]

| | 外来 | 装具外来 | 歯科 | 短時間通所リハビリ | 短期集中健幸アップ教室 | 訪問リハビリ | 通所リハビリ |
|------|-----------------|---------------|----------|--------------|--------------|--------|--------------|
| 診療時間 | 午前 9:00 ~ 12:30 | 14:30 ~ 15:00 | 午後 | 9:00 ~ 16:50 | 9:30 ~ 11:00 | | 9:00 ~ 16:00 |
| 月 | | | | ○ | | ○ | ○ |
| 火 | 渡辺 | ○ (予約制) | 山崎 (予約制) | ○ | | ○ | ○ |
| 水 | 飯塚 | | | ○ | | ○ | ○ |
| 木 | 太田 | | 山崎 (予約制) | ○ | | ○ | ○ |
| 金 | 小田 | | | ○ | | ○ | ○ |
| 土 | | | | | | | ○ |

医療福祉相談・連携室

| 相談受付時間 | 平日 | 土曜日 | 日・祝日 |
|--------|------------------------|------------|------|
| | 9:00~12:00 13:30~16:30 | 9:00~12:00 | 休み |



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00 ~ 16:30
土曜日 9:00 ~ 12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: http://coopreha.jp/
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人